

保育園の自己評価を終えて

保育園の自己評価を毎年全職員で行っています。評価項目の内容の意味を理解しないまま行くと、どうしても経験の浅い職員の評価が低くなってしまふことから、一昨年かから経験に関わらず、どの職員も評価項目を共通認識できるように内部研修を行ったうえで取り組むようにしています。内部研修を行うことで経験の少ない職員も内容を理解して評価に臨むことができるようになりました。

また、今年は保育者に関わる不適切な保育に関するニュースも多く、それを他人事とはとらえず注意喚起だけではなく、職員アンケートから自園の課題を把握し、職員と共に改善に努めました。そして、必要に応じてセルフチェックやチェックリストを行うことで、職員一人ひとりに問題を投げかけ、一緒に考えていくことで、保育の質の向上・維持に努めました。

今後も自己評価で可視化された課題だけではなく、日々の保育の振り返りを行うことの大切さを職員にもしっかりと伝えていきたいと思ひます。

次年度は感染症対策が緩和されることから、ここ数年できなかった地域の行事等にも積極的に参加し、地域との結びつきも大切にしていきたいと思ひます。

今後も子どもがより良い環境で成長し、健やかに健康的な生活が送れるように、自己評価を行っていくとともに、保護者アンケートや行事アンケートから保護者のニーズや改善点を把握し、保護者の皆様の協力を得ながら、安心して信頼される保育園の運営をしていきたいと思ひます。

令和5年 3月

横浜みなとみらい保育園 園長 木下かおり